

ひらけゴマ!

しずおかしりつとしょかん 静岡市立図書館 Vol. 147 (2022冬号) ふゆごう

とくしゅう

特集 チョコレート

えほん『ぎょうれつのできるチョコレート屋さん』

ふくざわ ゆみこ/さく きょういくがげき 教育画劇

E フクサ



キタリスくんとシマリスくんは、町の まち チョコレート屋のおにいさんから、チョコレート や をもらいます。そのおいしさに かんどう 感動したふたりは、森 もり の動物 どうぶつ たちにチョコレート くば を配 くば ります。もっと配りたいのに、チョコレートはあとひとつ。そこで、ふたりはあることを おも 思い もり つき、森をとびだします。

ことわざクイズ! どないみ?



はらはちぶ いしゃ 「腹八分に医者いらず」

☆こたえはいちばんさいごのページ

『ウサギのトリン』 きゅうしょく、おかわりできるかな』

たかばたけ
高 嶋 じゅん子 / 作

こばやし こ え こみねしよてん
小 林 ゆき子 / 絵 小 峰 書 店

あか 913

タカハタケ



ウサギなのになにに^{にがて}にんじんが苦手なトリン。あまっている給食^{きゅうしょく}のチョコレートプリンをおかわりするためには給食^{きゅうしょく}を残さず^{この}食べなければなりません。

でも、今日^{きょう}のメニューにはにんじん入りのポテトグラタンが!トリンはチョコレートプリンをもらえるでしょう。

えほん『チョコレートがおいしいわけ』

はんだ のどか / 作 アリス館

E ハンタ



みんな大好きチョコレート。おいしい秘密^{ひみつ}をカカオの^み実のキャラクター、カカとポドが答えます。ガーナの農園^{のうえん}でとれたカカオ豆^{まめ}は、はるばる^{うみ}海をこえて^{にほん}日本にやってきました。いろんな味や形^{あじ かたち}のチョコレートができあがると、カカとポドはある場所^{ばしょ}へ向かい^むます。そこは・・・。



ほか 他にもこんな本があるよ!

『チョコレート物語 一粒のおくり物を伝えた男』

さわ みずえ / 著 くもん出版

289.3

モロソフ

えほん『チョコレート屋のねこ』

スー・ステイントン／^{ぶん}文 アン・モーティマー／^え絵

なかがわ ちひろ やく しゅっぱん
中川 千尋／訳 ほるぷ出版

E モテイ



ちい せいの ちい せいの ちい せいの
小さな村のチョコレート屋に住むねこは、お
じいさんがつくったチョコレートねずみをかじりま
す。チョコレートねずみはおいしくて、ねこのこころ
はうきうき!この味を村のみんなに知ってもらい
たくて、ねこはいろいろな店にこっそりとチョコレ
ートねずみを置いてまわります。

『チョコとチョコレートの魔女 cafeエルドラド』

こばやし ゆかこ／^{ちよ}著 いわさきしよてん
岩崎書店

あお913

コハヤシ



チョコちゃんのおうちは『カフェ・エルドラ
ド』という名前のカフェ。家族3人の小さなお店
です。

でもある日、魔女に呪いをかけられてお菓子
職人のお父さんとお母さんがチョコレートにさ
れてしまいました。チョコちゃんは、チョコと呪
い、両方とくことができるでしょうか。

『すがたをかえるたべものしゃしんえほん10 チョコレートができるまで』

みやざき しょうこ こうせい ぶん しらまつ きよゆき しゃしん いわさきしよてん
宮崎 祥子／構成・文 白松 清之／写真 岩崎書店

619

ミ

ごまはかせ と こま太くんの どうやってしらべるの？



こま太くん

こまったなー、こまったなー。はかせ、
おかし^{つく}作りに^{ちようせん}挑戦してみたいんだー。
自分^{じぶん}でできるかな。



ごまはかせ

そうじゃのお、どんなおかしかな？

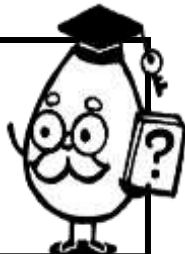


ぼくにもできるかんたんなおかしは
ないかなあ。はかせおしえて〜。



うむ。そんな^{とき}は、図書館^{としよかん}に行って^い調べて^{しら}みよう！

まず、目的^{もくてき}の本^{ほん}を見つけるためには、おかし^{つく}作りの本^{ほん}が
どの分類^{ぶんるい}にあてはまるかじゃが……5の分類^{ぶんるい}の棚^{たな}に行っ
てごらん。いろいろな料理^{りようり}の本^{ほん}やおかし^{つく}作りの本^{ほん}がたくさん
あるんじゃ。



あった、あった！クッキー、チョコレート、
おまんじゅう、いろいろなおかし^{つく}作りの本^{ほん}
があるよ。これなら、ぼくにも^{つく}作れそう。
はかせは、どんなおかし^すが好き？

そうじゃのお。
わしは^{あま}甘いチョコレートかな。



ひょうし
表紙の
こたえ

・ ごはんをはらいっぱい^た食べないで、ほどほどのところで
・ やめておけば、病気^{びようき}にかからない、ということわざ。